

## 第2期 川越町多文化共生社会推進指針

### 1 指針の策定趣旨

川越町では、外国人住民も地域社会で安心して暮らすことができるよう、多文化共生社会の実現に向けた施策・事業を計画的に進めるため、令和5年度から令和7年度を推進期間とする「川越町多文化共生社会推進指針」（以下「第1期推進指針」という。）を策定しました。

この指針が推進期間を満了すること、また、町の最上位計画であり、令和8年度から令和12年度までを計画期間とする「第7次川越町総合計画後期基本計画」（以下「総合計画」という。）を策定することから、総合計画に沿った多文化共生社会推進事業に取り組むため、第2期川越町多文化共生社会推進指針を策定するものです。

### 2 指針の位置づけ

本指針は、総合計画に掲げるまち将来像「つながる笑顔 ず～～と暮らしたい町かわごえ」を実現するために、多文化共生社会の推進に関する基本的な方針を定めるものです。

### 3 指針の推進期間

本指針の計画期間は、令和8年度から令和12年度までの5年間とし、必要に応じて、見直すこととします。

### 4 川越町在住外国人の日本語学習の現状と課題

川越町に在住する外国人の日本語学習状況の現状と課題について、アンケート調査結果から次のように整理しました（令和4年度調査より抜粋。詳細は参考資料を参照）。

#### （1）現状

（日本語学習の実態と学習環境）

- 現在、日本語を学んでいる人が約4割、学んでいないが今後学びたい人が約4割いる。
- 現在、日本語を学んでいる人の9割は独学である。
- 町内に日本語教室が無い場合、他市町\*の日本語教室に通っている人もいる。

※参考：四日市市内には7つの日本語教室、桑名市内には5つの日本語教室がある（令和4年12月時点）。

（日本語学習へのニーズ）

- 「役場の手続き」や「郵便局・銀行での手続き」、「病気になったとき」に日本語で困ると感じる人が多い。
- 日本語を学ぶ理由は、「日本で生活するために必要だから」、「仕事で必要だから」、「日本人と交流したいから」の順が多い。在留資格別で見た場合、永住者は、次いで「転職のため」、「子育てに必要だから」が多い。
- 日本語を学んでいない理由は、「時間が無いから」、「何から学習を始めたらいいか、わからないから」、「日本語教室の情報が無いから」の順が多い。

(日本語教室へのニーズ)

- 川越町内で日本語教室が開催されれば、参加したい人が7割近くいる。
- 日本語教室に求める条件は、「参加費が安いこと」、「時間が合うこと」、「近くにあること」の順で多い。
- 日本語教室には、日本語学習の場とは別に、「生活情報の収集」、「困りごとに関する相談ができる場」、「日本文化を学ぶ場」、「日本人との交流の場」などのニーズがある。

(日本語能力の状況)

- 日本語能力については、「聞く」については「相手がゆっくり話せば聞いて、理解できる」、「話す」は「簡単な日常会話ができる」、「読む」は「絵の付いた簡単な指示が分かる」、「書く」は「名前や国名、住所などが書ける」との自己評価が多い。
- 約7割が、川越町内で仕事をしており、その他2割は、他市町で仕事をしている。日本語を学んでいない理由として、約6割が「時間的余裕がないから」と回答しており、働く外国人住民の日本語学習環境について、検討が必要である。

(2) 課題

- 役場、郵便局、銀行、病院の窓口等で、「やさしい日本語」でのコミュニケーションが求められる。
- 町内に日本語学習の場が求められる。
- 町内で日本語学習の支援を行う人材を育成・確保する仕組みが求められる。また、日本語学習支援者には、日本語の学習支援のみではなく、生活に関する相談や日本語で交流する相手としての役割が期待される。
- 外国につながる子ども\*とその親への日本語学習支援が期待される。  
※国籍にかかわらず外国にルーツのある子ども
- 外国人従業員を雇用する町内企業と日本語習得・日本語学習についての共通認識や連携した取組が求められる。

## 5 第1期推進指針で取り組む日本語学習環境整備の方向性等

アンケート調査の結果を踏まえ、第1期推進指針で取り組む日本語学習環境整備の方向性を次のとおりとしました。

(1) 方向性

町民と町内在住・在勤外国人が、交流し、互いを認め、語り合い、学び合い、助け合える日本語学習の環境づくりをめざす。

(2) 具体的な方針

①日本語で交流できる場づくり

日本語がまだ十分習得できていない在住・在勤外国人と、外国人との日本語による対話を希望する町民との交流の場を設け、外国人からの相談や質問、対話を行う場を設ける。

②「やさしい日本語」の普及

在住外国人への情報提供では、多言語対応の充実とともに、外国人にとってわかり

やすい「やさしい日本語」による情報提供が必要であり、外国人との対話において「やさしい日本語」を使うことが重要であるため、「やさしい日本語」の情報提供の促進と住民、企業活動などにおける「やさしい日本語」の普及啓発に取り組む。

具体例⇒「やさしい日本語」パンフレット作成、研修会の実施など

③子どもたちへの学習支援

在住外国人が、地域社会の一員として、学び、雇用の場を得、安心して暮らしていくために、小中学校の段階において日本語の読み書きが習得できる支援体制の整備に努める。

④多文化交流パートナーの育成

町内在住・在勤外国人との対話、交流を希望する住民、企業を関係機関と連携して多文化交流パートナーの育成に努める。

## 6 第1期推進指針の成果

第1期推進指針で定めた4つの方針に沿って、住民や企業、関係機関と連携して次の取り組みを進めました。

①日本語で交流できる場づくり

令和5年度に1回目の外国人住民と日本人住民の交流会を開催しました。その後、この交流会を「かわごえにほんご交流サロン」（以下「サロン」という。）とし、令和6年度から、ボランティア活動拠点施設「ささえあい」を拠点に、延べ22回開催し、697名が参加しました。

②「やさしい日本語」の普及

サロンでは、「やさしい日本語」を使用するため、“多文化交流パートナー”（以下「日本語パートナー」という。）の育成研修やパートナーのフォローアップ研修などで、「やさしい日本語」を学ぶ機会を確保しました。

役場業務においては、多言語対応アプリを導入したタブレット端末を整備し、活用するなど多言語対応の取り組みを進めました。

③子どもたちへの学習支援

外国人住民の増加や在留資格制度の改正によって、日本語のサポートが必要な児童、生徒が増加していることから、令和7年度に、川越町中学校において、外国人生徒と日本語パートナーが「やさしい日本語」で交流する「ワールドクラス」を試行的に8回開催し、104名が参加しました。

また、ワールドクラスに合わせて、外国人生徒の日本語学習の時間に、日本語パートナーが担当教員のサポートを行っています。

④日本語パートナーの育成

令和5年度、令和7年度に、日本語パートナー育成研修を開催し、20名を超える日本語パートナーを育成しました（各年度2回開催、28名が参加）。また、サロン活動の

維持・拡充に向けた人材確保の取り組みとして、育成研修未受講者でも、サロンに参加し、活動できるよう、日本語パートナーがサポートしながら、気軽に参加できる雰囲気づくりに取り組みました。

## 7 第1期推進指針の成果から見る今後の課題

第1期推進期間においては、概ね計画通りに事業を進めることができましたが、第2期推進指針を策定するにあたり、次の課題に対応していく必要があります。

### ①日本語で交流できる場づくり

- ・令和7年度から、毎月1回、第2日曜日にボランティア活動拠点施設「ささえあい」で開催していますが、サロンを定例開催することにより、人との交流だけではなく、日常生活の困りごとなどが相談でき、適切な支援につなげる機会・機能を維持する必要があります。
- ・外国人参加者の減少や固定化が見受けられることから、小中学校からの個別連絡に加え、企業を通じた案内などサロンの周知・啓発に取り組む必要があります。
- ・サロンでは、「やさしい日本語」でのコミュニケーションを推奨していますが、参加者の日本語レベルに合わせて、スマートフォンやタブレットを活用し、互いの国や文化などの紹介すること、翻訳アプリなどを利用する機会があることから、「ささえあい」のインターネット環境を充実する必要があります。

### ②「やさしい日本語」の普及

- ・今後も外国人住民の増加が見込まれており、行政だけではなく、学校や企業、地域においても互いを認め合い、支え合い、助け合える環境づくりに向けて、コミュニケーションツールとなる「やさしい日本語」の普及・啓発に取り組む必要があります。
- ・行政サービスにおいては、現在、ごみカレンダーや防災マップなどの多言語化に取り組んでいますが、対応言語の拡充を進めるとともに、ホームページやメール・LINEなど情報発信の多言語化の充実に取り組む必要があります。また、多言語化と並行して、各種案内チラシなどに「やさしい日本語」を取り入れる必要があります。

### ③子どもたちへの学習支援

- ・在留資格制度の改正などもあり、今後、日本語がわからない児童・生徒の増加が見込まれています。一人ひとりの状況や日本語レベルに応じた、生活支援、学習支援ができる体制づくり、必要な人材確保に取り組む必要があります。

### ④日本語パートナーの育成

- ・性別や年齢、国籍などに関わらず、互いを認め合い、支え合い、助け合える地域づくりが求められており、住民が主体的に活動に参加し、中心となって活躍する人材育成に取り組む必要があります。
- ・多文化共生社会の理解を地域へ広げるため、イベントや行事での普及・啓発など、サロン以外の活動を充実していく必要があります。

## 8 第2期推進指針で取り組む施策・事業

第1期推進期間での成果、今後の課題を踏まえ、第2期では次の4つの方針で、当町の多文化共生社会の推進に取り組みます。

### 方針1 かわごえにほんご交流サロンの充実

- ・当町のサロンの特徴である対話交流型を維持しつつ、外国人参加者のニーズを活動に反映させるなど、活動内容の充実に取り組みます。
- ・サロンが有する困りごと相談、居場所としての機能を維持、拡充します。
- ・参加者の維持・確保に向けて、学校や地域、企業とも連携しながら、サロン活動の周知を行い、新たな参加者の確保に努めます。
- ・未就学児や児童、生徒など、年齢に関係なく参加できるサロンづくりに取り組みます。

### 方針2 「やさしい日本語」の普及

- ・日本語パートナーが中心となり、町の行事やイベントなどでサロンの紹介とともに、「やさしい日本語」の普及活動を推進します。
- ・広報紙や行政番組などを活用し、「やさしい日本語」を知るきっかけづくりに取り組みます。
- ・学校や地域、企業に対して情報提供を行うなど、「やさしい日本語」の普及活動を行います。

### 方針3 子どもたちへの学習支援

- ・外国人生徒と日本語パートナーが交流するワールドクラスを開催し、日本語学習の支援を行います。
- ・サロンに学習スペースを設けるなど、児童や生徒も参加できる機会をつくり、同じ世代同士が学び合える環境づくりを進めます。

### 方針4 日本語パートナーの育成

- ・日本語パートナー向けの研修や他の日本語教室との情報共有などにより、日本語パートナーも安心して活動できる環境づくりに努めます。
- ・サロン活動の維持、充実のため、新たな日本語パートナーの育成に取り組みます。

## 9 その他多文化共生施策の方向性

日本語学習以外の多文化共生社会を推進するため、アンケート調査結果及び川越町の施策の現状と課題を踏まえ、関係各課や近隣市町、関係機関とも連携し多文化共生社会に関する施策を推進します。

### 【推進する施策】

- 行政情報の多言語化
- 窓口サービスの多言語対応
- 地域活動への外国人住民の参加促進、イベント等交流機会の確保
- 町内企業との連携強化
- 関係機関等との多文化共生施策に関する情報共有や類似事業の共同実施

.....  
(参考資料)

川越町多文化共生実態調査報告書 概要版

(データ)

外国人に関するデータ

- 外国人人口
- 国籍別人口
- 在留資格別人数
- 年齢3区分人口

(参考資料)

## 川越町多文化共生社会実態調査報告書 概要版

### I 調査概要

#### 1. 調査の趣旨

川越町在住在勤外国人の日本語学習環境、生活状況、生活上の困難、町への要望を把握し、多文化共生施策の方針と日本語教育体制の整備について検討する基礎資料とする。

#### 2. 調査方法

(1) 調査票配布(企業経由、小中学校経由、戸別訪問) (2) QRコード読取りによる回答

【調査票の言語】日本語、英語、中国語、フィリピン語、ベトナム語、ポルトガル語、スペイン語

#### 3. 調査期間 令和4(2022)年9月～11月

#### 4. 調査対象及び回答数

川越町在住外国人	528人	回答者	294人	回答率	55.7%
川越町在勤外国人(非在住者)	不明	回答数	51人		
その他(川越町非在住非在勤)		回答数	1人		

### II 調査結果

#### A あなたについて (n=346)

1. 性別 男235人(67.9%) 女110人(31.8%) 無回答1人

2. 年齢層 20代157人(45.4%) 30代125人(36.1%) 40代27人(7.8%) 50代21人(6.1%)  
10代7人(2.0%) 60代7人(2.0%)

#### 3. 国籍N=346

- ①ベトナム134人(38.7%) ②中国46人(13.3%) ③ブラジル44人(12.7%)  
④ネパール30人(8.7%) ⑤ペルー27人(7.8%) ⑥カンボジア22人(6.3%)  
⑦フィリピン12人(3.4%) ⑧インドネシア11人(3.1%) ⑨モンゴル10人(2.8%)

#### 4. 在留資格

- ①技能実習159人(46.0%) ②永住者72人(20.8%)  
③技術・人文知識・国際業務43人(12.4%) ④定住者25人(7.2%)  
⑤特定技能17人(4.9%) ⑥留学14人(4.0%) ⑦家族滞在9人(2.6%)

#### 5. これまでの日本滞在期間

- ①1年以上3年未満91人(26.3%) ②3年以上5年未満89人(25.7%)  
③10年以上85人(24.6%) ④5年以上10年未満49人(14.2%) ⑤1年未満32人(9.2%)

#### 6. 今後の生活予定

- ①住み続ける178人(51.4%) ②まだ決めてない/わからない113人(32.7%)  
③いずれ帰国予定54人(15.6%)

\* 帰国予定年 無回答26人、2023年11人、2024年7人、2022年4人

#### 7. 川越町在住

- ①在住294人・②非在住52人(四日市33人、朝日町11人、無回答8人)

#### 8. 仕事

- ①川越町内で仕事している244人(70.5%)
- ②他市町で仕事している86人(24.9%) ③仕事をしていない13人(3.8%)
- \*他市町で仕事(四日市23人,朝日町10人,いなべ市9人,桑名市6人,飛島村5人)

<在留資格別クロス集計>

(永住者、定住者、技・人・国等) \* 1 N=186

- ①川越町で仕事をしている(53.8%) ②他市町で仕事をしている(38.2%)
- ③仕事をしていない(7.0%)

(技能実習) N=159

- ①川越町で仕事をしている(89.9%) ②他市町で仕事をしている(9.4%)

\* 1

この報告書において、「永住者、定住者、技・人・国等」とは、永住者、定住者、技・人・国、留学、家族滞在など、技能実習を除くすべての在留資格の総称として用いている。「技・人・国」とは、在留資格「技術・人文知識・国際業務」の一般的に用いられている略称である。

## 9. SNS (N=346)

- ①Facebook 242人(69.9%) ②Messenger 160人(46.2%) ③LINE 136人(39.3%)
- ④Instagram 47人(25.1%) ⑤WhatsApp 61人(17.6%) ⑥WeChat 38人(11.0%)
- ⑦Twitter 23人(6.6%) ⑧利用しない16人(4.6%)

<Facebook未利用者84人が利用している他のSNS>

- ①LINE(53.6%) WeChat(31.0%) ②WhatsApp(25.0%) Instagram(25.0%) ③Messenger(19.0%)

<Facebook・LINEとも未利用者39人が利用している他のSNS>

- ①WeChat(38.5%) ②WhatsApp(28.2%) ③Messenger(23.1%) ④Instagram(20.5%)

<外国人住民カバー率(N=326)>

- ①Facebook 242人(74.2%) ②Facebook+LINE 287人(88.0%)
- ③Facebook+LINE+WeChat 302人(92.6%)

<国籍別クロス集計>

ベトナムN=134

- ①Facebook(92.5%) ②Messenger(45.5%) ③LINE(34.3%) ④Instagram(9.7%)

中国N=46

- ①WeChat(71.7%) ②LINE(37.0%) ③利用しない(19.6%) ④Facebook(15.2%)

ブラジルN=44

- ①WhatsApp(72.7%) ②Instagram(61.4%) ③Facebook(54.5%) ④Messenger(45.5%)

## B 日常生活について (n=294 複数回答)

### 1. 情報入手先

- ①インターネット(76.5%) ②日本人の友人や知り合い(31.6%)
- ③家族や親せき(31.0%) ④会社や学校(29.3%)
- ⑤日本人以外の友人や知り合い(25.5%) ⑥SNS(19.7%)
- ⑦広報「かわごえ」(7.1%) ⑧日本語のテレビやラジオ(6.8%)
- ⑨役場のWEBサイト(3.4%)

<在留資格別クロス集計>

(永住者、定住者、技・人・国等) \* 1 N=158

- ①インターネット(66.5%) ②家族親せき(35.4%) ③日本人の友人や知り合い(32.9%)  
④日本人以外の友人や知り合い(25.3%) ⑤会社や学校(22.2%)

(技能実習) N=135

- ①インターネット(88.1%) ②会社学校(37.8%) ③日本人の知り合い友人(30.4%)  
④家族や親せき(25.9%) ④日本人以外の知り合い友人(25.9%)

## 2. 町から欲しい情報

- ①保健医療福祉(62.2%) ②税金や納税(48.0%) ③日本語学習(40.1%)  
④災害や緊急時の情報(37.1%) ⑤地域の生活ルール(21.1%)  
⑥相談窓口の情報(20.4%) ⑦子育てや教育(10.9%) ⑧町のイベントなどの情報(8.8%)

## 3. 知っている情報

	よく知っている	だいたい知っている	あまり知らない	まったく知らない
(1) 町役場で相談できる内容	9.2%	33.7%	38.8%	17.3%
(2) ゴミの出し方	58.5%	38.1%	2.7%	0.3%
(3) 日本の習慣やルール	25.9%	54.4%	18.4%	1.0%
(4) 地震、台風、大雨などの時にすべきこと	23.5%	50.3%	22.4%	3.4%
(5) 地震、台風、大雨などの情報の集め方	20.1%	43.9%	31.0%	5.1%
(6) 地震、台風、大雨などの時に避難する場所	13.3%	36.7%	37.4%	12.6%
(7) 自分や家族が病気になった時にすべきこと	29.3%	46.3%	19.7%	4.8%
(8) 自分や家族に介護が必要な時にすべきこと	17.0%	39.5%	29.9%	13.3%
(9) 経済的に生活継続が難しい時にすべきこと	13.3%	34.0%	36.1%	15.6%
(10) 仕事を探したい時にすべきこと	20.4%	40.8%	31.0%	7.8%
(11) 職場でトラブルに遭った時すべきこと	16.7%	45.2%	31.3%	6.5%

## D 日本語学習について(N=346)

### 1. どんな時に日本語で困るか。(3つまで回答)

- ①役場の手続き(45.1%) ②郵便局・銀行での手続き(43.4%)  
③病気になったとき(39.9%) ④働いているとき(26.0%)  
⑤自宅に届く郵便物や書類(21.7%) ⑥災害や緊急時(20.8%)  
⑦買い物(11.8%) ⑧近所付き合い(11.6%) ⑨電車やバス(9.5%)  
⑩仕事を探すとき(8.4%)

### <国籍別クロス集計>

ベトナム N=134

- ①役場手続き(50.0%) ②郵便局銀行(49.3%) ③病気(40.3%)

中国N=46

- ①病気(52.2%) ②役場手続き(47.8%) ③郵便局銀行(45.7%)

ブラジルN=44

- ①役場手続き(63.6%) ②病気(47.7%) ③郵便局銀行(36.4%)

### <在留資格別クロス集計>

(永住者、定住者、技・人・国等) N=186

①役場手続き(43.0%) ②病気(36.0%) ③郵便局銀行(36.0%) ④災害緊急時(22.6%)

(技能実習) N=159

①郵便局銀行(52.2%) ②役場手続き(47.2%) ③病気(44.7%)

## 2. 日本語を学んでいるか

①現在、学んでいる(44.8%) ②現在、日本語を学んでいないが、学びたい(42.8%)

③現在、日本語を学んでいないし、これからも学びたいと思わない(12.4%)

<国籍別クロス集計>

ベトナムN=134

①学んでいる(57.5%) ②学んでいないが学びたい(38.1%) ③学ぶ意思なし(4.5%)

中国N=46

①学んでいる(47.8%) ②学んでいないが学びたい(41.3%) ③学ぶ意思なし(10.9%)

ブラジルN=44

①学んでいる(20.5%) ②学んでいないが学びたい(50.0%) ③学ぶ意思なし(29.5%)

<在留資格別クロス集計>

(永住者、定住者、技・人・国等) N=186

①学んでいる(38.2%) ②学んでいないが学びたい(46.2%) ③学ぶ意思なし(15.6%)

(技能実習) N=159

①学んでいないが学びたい(52.8%) ②学んでいる(38.4%) ③学ぶ意思なし(8.8%)

## 3. どのように日本語を学んでいるか。(問2①日本語を学んでいると回答した人)

①独学(テキスト、テレビ、YouTube、アプリなど)(90.3%)

②会社で学んでいる(6.5%) ③日本語学校(5.8%)

④地域の日本語教室(3.2%) \* 5か所中、桑名市3か所

<国籍別クロス集計>

ベトナムN=77

①独学(94.8%) ②会社で学んでいる(9.1%) ③地域の日本語教室(2.6%)

中国N=22

①独学(100%)

ブラジルN=9

①独学(88.9%) ②その他(幼稚園)(11.1%)

## 4. 日本語を学んでいる理由(問2①日本語を学んでいると回答した人)

①日本で生活するために必要だから(91.0%) ②仕事で必要だから(74.8%)

③日本人と交流したいから(51.0%)

④日本語能力試験に合格したいから(24.5%) ⑤子育てに必要(8.4%)

⑥転職のため(7.1%) ⑦趣味だから(7.1%) ⑧進学・学校の勉強(5.8%)

<国籍別クロス集計>

ベトナムN=77

①生活に必要(97.4%) ②仕事で必要(81.8%) ③日本人との交流(59.7%)

中国N=22

①生活に必要(86.4%) ②仕事で必要(63.6%) ③日本人との交流(59.1%)

④日本語能力試験(40.9%)

ブラジルN=9

①生活に必要(100.0%) ②仕事に必要(66.7%) ③日本人との交流(44.4%) ④子育て(33.3%)

5. 日本語を学んでいない理由(問2「②日本語を学んでいないが学びたい」「③現在、日本語を学んでいないし、これからも学びたいと思わない」と回答した人(N=191)

①時間的余裕がないから(59.2%)

②なにから学習を始めたらいいか、わからないから(27.7%)

③日本語教室の情報がない(25.7%)

④金銭的な余裕がない(17.8%)

⑤もう日本語ができる(16.2%)

⑥日本語教室の内容(場所、時間、教え方、レベルなど)が合わないから(7.9%)

<国籍別クロス集計>

ベトナムN=57

①時間的余裕がない(68.4%) ②学習方法わからない(47.4%) ③日本語教室情報ない(33.3%)

ブラジルN=35

①時間的余裕がない(54.3%) ②金銭的余裕ない(22.9%) ③日本語教室情報ない(22.9%)

④意欲ない(11.4%)

中国N=24

①時間的余裕がない(79.2%) ②学習方法わからない(41.7%) ③意欲ない(25.0%)

④金銭的余裕ない(20.8%)

6. 日本語を学びたい理由(問2「②現在日本語を学んでいないが学びたい」と回答した人(N=148)

①日本で生活するために必要だから(81.1%) ②仕事に必要だから(62.2%)

③日本人と交流したいから(43.2%) ④日本語能力試験に合格したいから(12.2%)

⑤転職のため(11.5%) ⑥子育てに必要なから(8.1%)

<国籍別クロス集計>

ベトナムN=51

①生活に必要(82.4%) ②仕事に必要(56.9%) ③日本人と交流(41.2%)

④日本語能力試験(13.7%)

ブラジルN=22

①生活に必要(90.9%) ②仕事に必要(63.6%) ③日本人と交流(50.0%) ④子育て(31.8%)

中国N=19

①生活に必時(94.7%) ②仕事に必要(78.9%) ③日本人と交流(68.4%)

④日本語能力試験(15.8%)

7. 川越町内で日本語教室が開催されれば、参加したいと思うか。問2「①現在、日本語を学んでいる」「②現在、日本語を学んでいないが、学びたい」と回答した人(N=303)

①参加したい(68.0%) ②いいえ(26.7%)

<国籍別クロス集計>

ベトナムN=128

①参加したい(68.0%) ②いいえ(28.1%) ③無回答(3.9%)

中国 N= 41

- ①参加したい(65.9%) ②いいえ(29.3%) ③無回答(4.9%)

ブラジルN= 31

- ①参加したい(77.4%) ②いいえ(12.9%) ③無回答(9.7%)

8. どんな日本語教室が良いですか。(問7「①はい」と回答した人N=206)

- ①日本語教室の参加費が無料または安いこと(78.6%)  
②日本語教室の開催時間が合うこと(72.8%)  
③日本語教室が自宅や職場、学校などの近くにあること(51.9%)  
④インターネットを使ったオンライン授業があること(20.9%)  
⑤自分が学びたいことと、日本語教室の教え方や内容、レベルが合うこと(19.9%)  
⑥日本語能力試験の対策をしてくれること(17.0%)

<国籍別クロス集計>

ベトナムN=87

- ①開催時間があう(77.0%) ②参加費が無料安い(74.7%) ③教室が近い(62.1%)  
④内容レベルが合う(28.7%)

中国N=27

- ①参加費(85.2%) ②開催時間があう(74.1%) ③教室が近い(70.4%)  
④オンライン授業(25.9%)

ブラジルN=24

- ①参加費(66.7%) ②開催時間があう(54.2%) ③教室が近い(37.5%)  
④オンライン授業(20.8%)

9. 日本語学習以外に、日本語教室に期待することは何ですか。

(問7「①はい」と回答した人N=206)

- ①生活に必要な情報を収集することができる(53.4%)  
②生活相談にのってほしい(52.9%)  
③日本語の文章などを翻訳してほしい(36.4%)  
④日本文化を学ぶ場を提供してほしい(35.9%)  
⑤日本人と交流する場を提供してほしい(30.6%)  
⑥友人作りの場を提供してほしい(24.3%)

<国籍別クロス集計>

ベトナムN=87

- ①生活情報収集(55.2%) ②生活相談(52.9%) ③日本語翻訳(37.9%)  
④日本文化(32.2%) ⑤日本人との交流(26.4%)

中国N=27

- ①日本文化(70.4%) ②日本人との交流(55.6%) ③生活相談(48.1%)  
④生活情報収集(44.4%) ⑤日本語翻訳(37.0%) ⑥友人づくり(29.6%)

ブラジルN=24

- ①生活情報収集(75.0%) ②生活相談(66.7%) ③日本語翻訳(33.3%)  
④日本文化(29.2%) ⑤日本人との交流(16.7%)

E 日本語能力について(n=346)

1. 日本語能力試験を受けたことがあるか

- 受けたことがある(43.4%) 受けたことがない(52.6%) 無回答(4.0%)
- 合格レベルN 3(22.0%) N 4(21.3%) N 5(19.3%) N 2(16.7%) N 1(4.0%)

<在留資格別クロス集計>

(永住者、定住者、技・人・国等) N=186

- 受けたことがある(38.0%) 受けたことがない(58.3%) 無回答(3.7%)
- 合格レベルN=71

N 2(29.6%) N 3(25.4%) N 4(21.1%) 合格したことがない(18.3%)

(技能実習) N=159

- 受けたことがある(49.7%) 受けたことがない(45.9%) 無回答(4.4%)
- 合格レベルN=79

N 5(29.1%) 合格したことがない(29.1%) N 4(21.5%) N 3(19.0%)

<国籍別クロス集計>

ベトナムN=134

- 受けたことがある(50.0%) 受けたことがない(43.3%) 無回答(6.7%)
- 合格レベルN=67

N 3(28.4%) N 5(25.4%) N 4(22.4%) 合格したことがない(17.9%)

中国N=46

- 受けたことがある(26.1%) 受けたことがない(71.7%) 無回答(2.2%)
- 合格レベルN=12

N 4(25.0%) N 5(25.0%) 合格したことがない(25.0%) N 1(16.7%)

ブラジルN=44

- 受けたことがある(20.5%) 受けたことがない(77.3%) 無回答(2.3%)
- 合格レベルN=9

N 2(44.4%) N 1(22.2%) N 4(22.2%) 合格したことがない(11.1%)

2. 日本語がどのくらいできますか。

**聞く** N=346

- ①相手がゆっくり話せば聞いて、理解できる(35.0%)
- ②相手の言うことを、大体理解できる(29.5%)
- ③だけ聞き取れる(15.6%)
- ④テレビのニュース、ドラマを聞いて、理解できる(13.9%)
- ⑤ほとんど聞き取れない(4.3%)

<在留資格別クロス集計>

(永住者、定住者、技・人・国等) N=186

- ①相手の言うことを大体理解できる(30.6%)
- ②相手がゆっくり話せば聞いて理解できる(26.9%)
- ③テレビのニュース、ドラマを聞いて、理解できる(22.6%)
- ④単語だけ聞き取れる(14.0%)

(技能実習) N=159

- ①相手がゆっくり話せば聞いて理解できる(44.7%)

②相手の言うことを大体理解できる(28.3%)

③単語だけ聞き取れる(17.6%)

<国籍別クロス集計>

ベトナムN=134

①相手がゆっくり話せば聞いて理解できる(37.3%)

②相手の言うことを大体理解できる(29.9%)

③単語だけ聞き取れる(19.4%)

中国N=46

①相手がゆっくり話せば聞いて理解できる(50.0%)

②単語だけ聞き取れる(21.7%)

③相手の言うことを大体理解できる(15.2%)

ブラジルN=44

①テレビのニュースドラマを聞いて理解できる(34.1%)

②相手の言うことを大体理解できる(31.8%)

③相手がゆっくり話せば聞いて理解できる(27.3%)

**話す** N=346

①簡単な日常会話ができる(32.9%)

②自分の言いたいことが大体話せる(30.9%)

③自己紹介、決まった挨拶、単語なら言うことができる(18.5%)

④自分の言いたいことが問題なく話せる(12.1%)

⑤ほとんど話せない(3.8%)

<在留資格別クロス集計>

(永住者、定住者、技・人・国等) N=186

①自分の言いたいことが大体話せる(32.8%)

②簡単な日常会話ができる(29.6%)

③自分の言いたいことが問題なく話せる(18.8%)

④自己紹介決まった挨拶単語なら言うことができる(12.4%)

(技能実習) N=159

①簡単な日常会話ができる(37.1%)

②自分の言いたいことが大体話せる(28.9%)

③自己紹介、決まった挨拶、単語なら言うことができる(25.2%)

<国籍別クロス集計>

ベトナムN=134

①簡単な日常会話ができる(35.8%)

②自分の言いたいことが大体話せる(27.6%)

③自己紹介、決まった挨拶、単語なら言うことができる(25.4%)

中国N=46

①自分の言いたいことが大体話せる(32.6%)

②自己紹介、決まった挨拶、単語なら言うことができる(28.3%)

③簡単な日常会話ができる(26.1%)

ブラジルN=44

- ①自分の言いたいことが大体話せる(36.4%)
- ②簡単な日常会話ができる(31.8%)
- ③自分の言いたいことが問題なく話せる(22.7%)

**読む** N=346

- ①絵の付いた簡単な指示（ごみの捨て方、料理の作り方など）が分かる(46.8%)
- ②役所や学校、職場からの手紙やお知らせを読んで、少し理解できる(15.6%)
- ③ほとんど読めない(13.9%)
- ④役所や学校、職場からの手紙やお知らせを読んで、理解できる(10.7%)
- ⑤新聞や雑誌の広告やチラシ、駅の時刻表や案内板を見て、欲しい情報が取れる(10.4%)

<在留資格別クロス集計>

(永住者、定住者、技・人・国等) N=186

- ①絵の付いた簡単な指示（ごみの捨て方、料理の作り方など）が分かる(39.2%)
- ②役所や学校、職場からの手紙やお知らせを読んで、少し理解できる(19.9%)
- ③役所や学校、職場からの手紙やお知らせを読んで、理解できる(16.1%)
- ④ほとんど読めない(14.0%)

(技能実習) N=159

- ①絵の付いた簡単な指示（ごみの捨て方、料理の作り方など）が分かる(55.3%)
- ②ほとんど読めない(13.8%)
- ③新聞や雑誌の広告やチラシ、駅の時刻表や案内板を見て、欲しい情報が取れる(11.9%)
- ④役所や学校、職場からの手紙やお知らせを読んで、理解できる(10.7%)

<国籍別クロス集計>

ベトナムN=134

- ①絵の付いた簡単な指示（ごみの捨て方、料理の作り方など）が分かる(51.5%)
- ②役所や学校、職場からの手紙やお知らせを読んで、少し理解できる(18.7%)
- ③新聞や雑誌の広告やチラシ、駅の時刻表や案内板を見て、欲しい情報が取れる(9.7%)
- ④ほとんど読めない(9.7%)

中国N=46

- ①絵の付いた簡単な指示（ごみの捨て方、料理の作り方など）が分かる(43.5%)
- ②新聞や雑誌の広告やチラシ、駅の時刻表や案内板を見て、欲しい情報が取れる(26.1%)
- ③役所や学校、職場からの手紙やお知らせを読んで、理解できる(10.9%)

ブラジルN=44

- ①絵の付いた簡単な指示（ごみの捨て方、料理の作り方など）が分かる(40.9%)
- ②ほとんど読めない(22.7%)
- ③役所や学校、職場からの手紙やお知らせを読んで、少し理解できる(18.2%)
- ④役所や学校、職場からの手紙やお知らせを読んで、理解できる(15.9%)

**書く** N=346

- ①名前や国名、住所などが書ける(49.7%)
- ②職場の同僚や学校の先生、家族に要件を伝える簡単なメモなどを書くことができる(21.1%)
- ③ほとんど書けない(12.4%)
- ④仕事の報告書や学校の先生に子供の状況を伝える連絡、料理の作り方など、状況や方法を説明する文章を書くことができる(7.8%)

⑤日常生活や自分のふるさと、自分の経験について紹介する文章を書くことができる (7.2%)

<在留資格別クロス集計>

(永住者、定住者、技・人・国等) N=186

①国名、住所などが書ける(34.9%)

②職場の同僚や学校の先生、家族に要件を伝える簡単なメモなどを書くことができる(21.0%)

③ほとんど書けない(17.7%)

④仕事の報告書や学校の先生に子供の状況を伝える連絡、料理の作り方など、状況や方法を説明する文章を書くことができる(13.4%)

(技能実習) N=159

①名前や国名、住所などが書ける(66.7%)

②職場の同僚や学校の先生、家族に要件を伝える簡単なメモなどを書くことができる(21.4%)

③ほとんど書けない(6.3%)

<国籍別クロス集計>

ベトナムN=134

①名前や国名、住所などが書ける(58.2%)

②職場の同僚や学校の先生、家族に要件を伝える簡単なメモなどを書くことができる(28.4%)

③ほとんど書けない(5.2%)

中国N=46

①名前や国名、住所などが書ける(60.9%)

②職場の同僚や学校の先生、家族に要件を伝える簡単なメモなどを書くことができる(19.6%)

③ほとんど書けない(6.5%)

④仕事の報告書や学校の先生に子供の状況を伝える連絡、料理の作り方など、状況や方法を説明する文章を書くことができる(6.5%)

ブラジルN=44

①ほとんど書けない(36.4%)

②名前や国名、住所などが書ける(31.8%)

③仕事の報告書や学校の先生に子供の状況を伝える連絡、料理の作り方など、状況や方法を説明する文章を書くことができる(15.9%)

④職場の同僚や学校の先生、家族に要件を伝える簡単なメモなどを書くことができる(13.6%)

C よく利用する場所

- ・スーパーマーケット、コンビニエンスストア、薬局、飲食店など。

<自由記述意見> 全35人、38件

(日本語学習・教室)

○日本語教室が必要(4件)。

○週末に日本語授業をしてほしい(3件)。

○こども対象の日本語教室がほしい。

(多言語支援)

○川越町役場への通訳の配置(7件)。

○多言語情報がほしい(2件)。

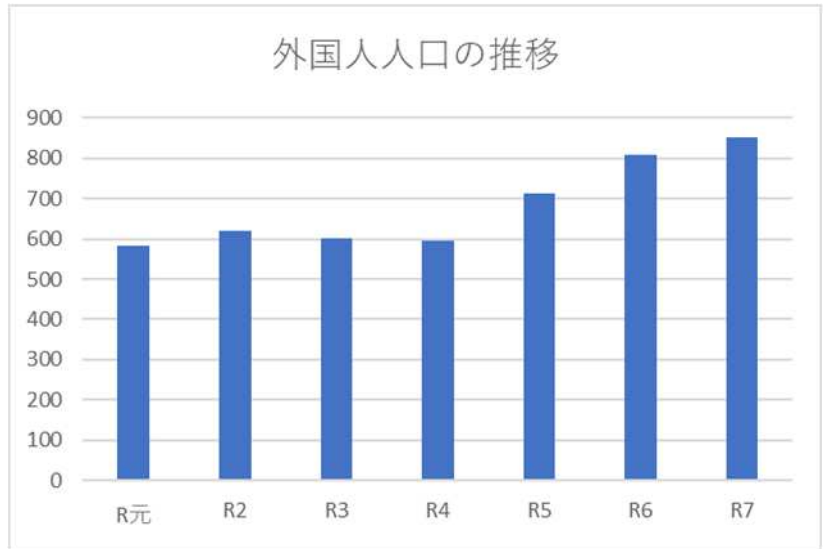
(町の行政)

- 外国人と日本人の交流の場をつくってほしい。
- 外国人対象のサポートセンターがあればいい。
- 外国籍児童のための学習支援が必要。

(データ) \*外国人に関するデータ

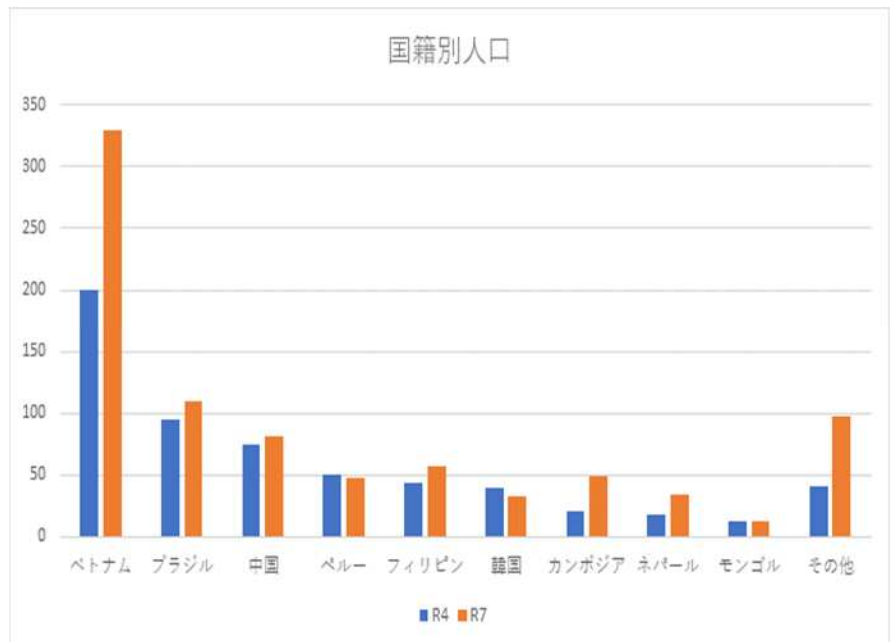
○外国人人口の推移 (各年: 12月31日現在)

年度	人数
R元	583
R2	620
R3	601
R4	596
R5	712
R6	810
R7	851



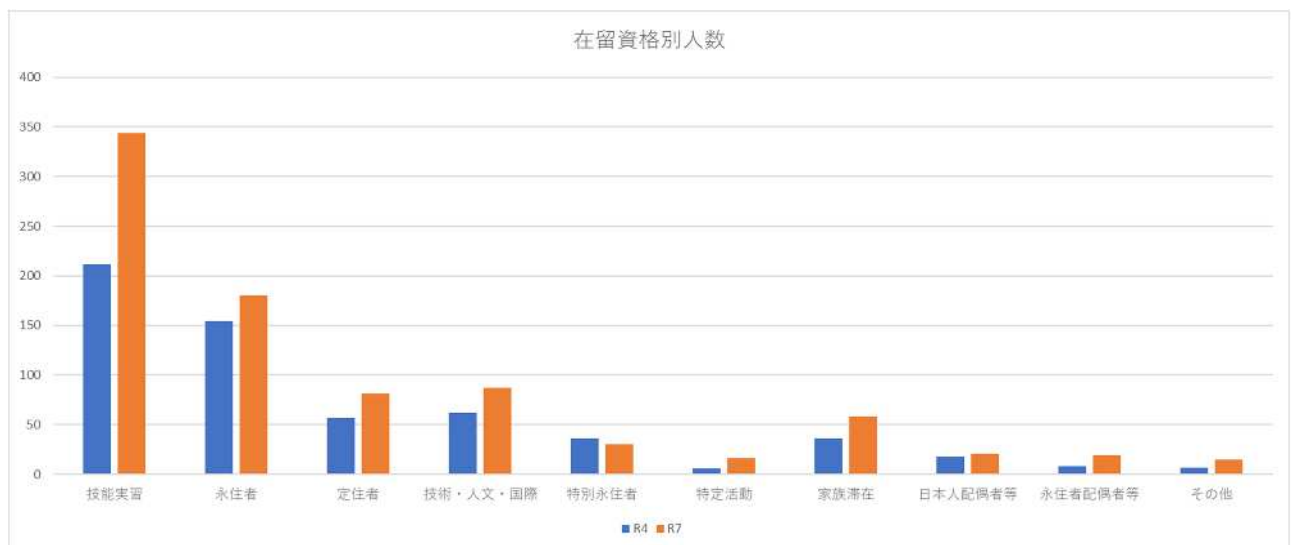
○国籍別人口 (各年: 12月31日現在)

国籍	R4	R7
ベトナム	200	330
ブラジル	95	109
中国	75	81
ペルー	50	48
フィリピン	43	57
韓国	40	33
カンボジア	21	49
ネパール	18	34
モンゴル	13	12
その他	41	98
合計	596	851



○在留資格別人口（各年：12月31日現在）

種別	R4	R7
技能実習	212	344
永住者	154	180
定住者	57	81
技術・人文・国際	62	87
特別永住者	36	30
特定活動	6	16
家族滞在	36	58
日本人配偶者等	18	21
永住者配偶者等	8	19
その他	7	15
合計	596	851



○年齢3区分別人口（各年：12月31日現在）

区分	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
15歳未満	36	45	50	46	61	68	73
15歳～64歳	530	555	530	528	629	722	756
65歳以上	17	20	21	22	22	20	22
計	583	620	601	596	712	810	851

